

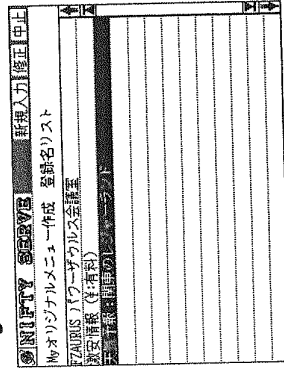
9 実行したいメニューに1回または2回タッチします。メニューが実行され、通信画面に内容が表示されます。

10 終わるときは、**終了**にタッチします。

11 **接続中止**にタッチして接続を切り、ニフティサブ初期画面で**通信記録**にタッチして、通信記録画面で内容を見ます (☞112ページ)。

- Myオリジナルメニューは自分で登録することもできます (☞「Myオリジナルメニューを作る」このページ)。
- Myオリジナルメニューを削除するには
  - ・1件ずつ削除する  
Myオリジナルメニューリスト画面で削除したいメニューにタッチして反転させ、**削除**にタッチします。メッセージを確認し、**はい**にタッチします。
  - ・Myオリジナルメニューをすべて削除する  
ニフティサブ初期画面または通信記録画面で**メニュー**、**削除**、**はい**にタッチし、**全Myオリジナルメニュー**にタッチします。メッセージを確認し、**はい**にタッチします。

## Myオリジナルメニューを作る



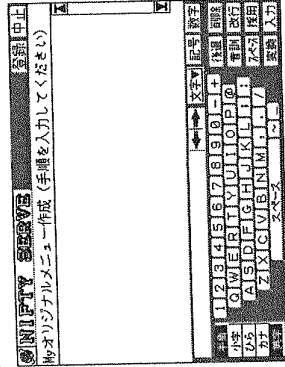
Myオリジナルメニュー作成  
登録名リスト画面

1 ニフティサブ初期画面で、**Myオリジナルメニュー作成**にタッチします。Myオリジナルメニュー作成登録名リスト画面が表示されます。

2 **新規入力**にタッチします。Myオリジナルメニュー作成画面が表示されます。

3 操作手順を入力し、**登録**にタッチします。登録名入力画面が表示されます。操作手順の作成については次ページのメモをご覧ください。

4 登録名を入力し、**登録**にタッチしたあと、**中止**にタッチします。作成したメニューがMyオリジナルメニューに登録されます。

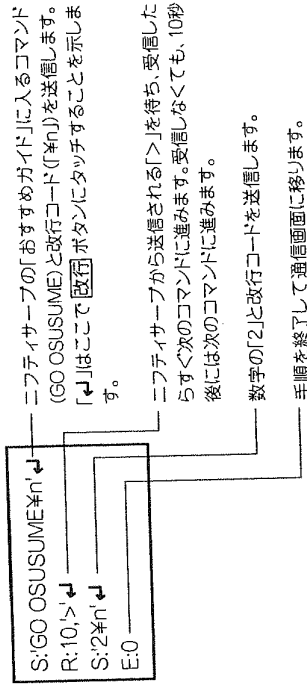


Myオリジナルメニュー作成画面

## 操作手順の作成方法

操作手順の作成には、手順作成用コマンドを使います。手順作成用コマンドの詳細については、「資料」の「手順作成用コマンドについて」をご覧ください。

例：ニフティサブの「おすすすめガイド(OSUSUME)」に入り、2番目のメニューの「特集」を見たいときは、次の手順を記述します。



ニフティサブの「おすすすめガイド」に入るコマンド(GO OSUSUME)と改行コード(<nl>)を送信します。「>」はここで**改行**ボタンにタッチすることを示します。

ニフティサブから送信される「>」を待ち、受信したからすぐ次のコマンドに進みます。受信しなくても、10秒後には次のコマンドに進みます。

数字の「2」と改行コードを送信します。

手順を終了して通信画面に移ります。

## ニフティメールを使う

ニフティサブに接続してメールを送受信するときは、メール送信機能(☞126ページ)、メール受信機能(☞137ページ)を使います。ニフティサブ通信のザウルスメール(NIFTY)画面では、送信したメールをキャンセルしたり、受信済みのメールを削除したりすることができます。

- 送信したメールを削除するには  
送信してしまったメールの内容を変更したり、メールをまちがえて送信したときなどには、送信したメールをキャンセルすることができます。  
ザウルスメール(NIFTY)画面で**送信メールキャンセル**にタッチすると、宛先の利用者ID番号の確認画面が表示されます。宛先の利用者ID番号を入力し**改行**にタッチすると、削除できるメールのリストが表示されます。キャンセルしたいメールの番号を入力し**改行**にタッチします。メッセージに従って操作しキャンセルします。
- ニフティサブ上の受信済みのメールを削除するには  
受信後、ザウルスメール(NIFTY)画面で、**受信済みメール削除**にタッチします。通信画面に受信メールが表示されます。削除するメールを番号で選び、**改行**にタッチします。続いて**1 改行**とタッチすると選んだメールが削除されます。なお、条件設定で受信したあと自動的に削除するように設定できます。

- ニフティサブでは、送信したメールは2週間後にネットワークから自動的に削除されます。
- 通信画面でコマンドを使用してニフティサブの電子メール機能を利用する場合、バイナリーデータの送受信を行うことはできません。

## 通信した内容を見える

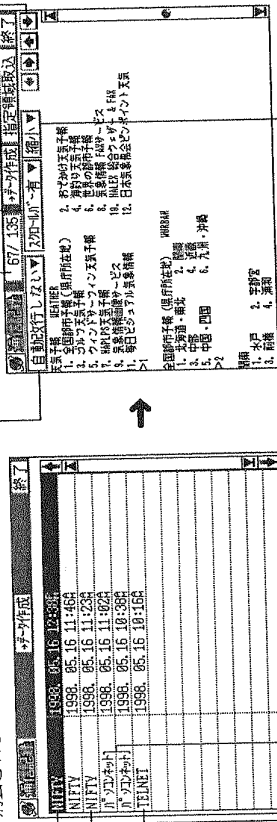
### 通信記録

## 通信した内容を表示する

通信記録には、接続開始から終了までが、パソコンネット通信とTELNET合わせ最大20件まで記録されています。読み終わった通信記録は、情報ファイルの一時保管ファイルに保存したあと、削除してください。

### 例 記録した内容を見るとき

最大20件まで表示する  
20件以上になると一番古い記録から消去される



通信記録リスト画面

パソコンネットの通信記録  
TELNETの通信記録  
二フティサイブの通信記録

内容表示画面の1行目が全体行数の何行目かを表示する  
スクロールバーを表示する/  
しないの切り替え

スクロールボタン

自動的に改行する/  
しないの切り替え

文字の大きさ(拡大、縮小)の切り替え

順送り 逆送りでページ送り(機能)に  
タッチしたあとタッチすると、10ページ分送ら  
れる) 通信記録データ画面

- 1 二フティサイブ初期画面で「通信記録」にタッチします。通信記録リスト画面が表示されます。
- 2 表示する記録に1回または2回タッチします。通信記録データ画面に通信記録が表示されます。

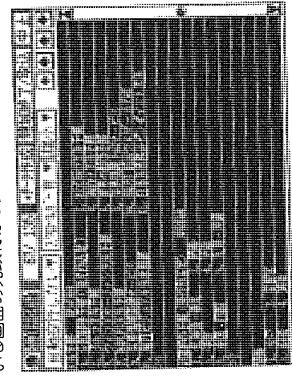
- 画面のスクロール
  - ・ 機能にタッチ ..... 1行ずつスクロール
  - ・ 機能にタッチしたあとにタッチ ..... 先頭の画面へ
  - ・ 機能にタッチしたあとにタッチ ..... 末尾の画面へ
  - ・ 機能にタッチ ..... 左右にスクロール

- 通信記録画面のスクロールについて  
通信記録画面で記録した内容を「自動改行する」にして見るときに表示文字の大きさを変更したい場合には、先に文字の大きさの切り替え(縮小/拡大)を行ってから「自動改行する」に設定してください。  
また、スクロール中にスクロール幅の不具合が生じたときには、自動改行の設定をいったん「自動改行しない」に戻したあと、再び「自動改行する」に設定してください。

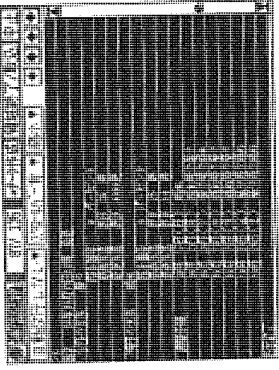
## 通信した内容を保存する

### 例 通信した内容の一部をレポートに保存するとき

指定領域取込にタッチすると、表示している画面の先頭行から文字が選択される



選択している部分までを取り込む



順送り 逆送りでページ送り  
通信記録データ画面

指定領域取込にタッチする前の画面位置

領域終了取込にタッチする前の画面位置

通信記録

取り込みたい領域

- 1 内容を保存する通信記録を表示します。
- 2 取り込み領域の先頭行を表示画面の一番上に表示し、指定領域取込にタッチします。
- 3 順送りや逆送りで取り込み領域の最終行を画面の一番下に表示し、領域終了取込にタッチします。確認のメッセージが表示されます。
- 4 はいにタッチします。確認指定した領域が複写されます。確認のメッセージで確認にタッチします。
- 5 保存先のレポートの新規入力画面を開き、書き込みたい位置にカーソルを移したあと、メニュー取込にタッチします。複写した内容が貼り込まれます。
- 6 登録にタッチし、保存先のファイルを選択して登録します。



- 一度に取り込むことのできる指定領域のサイズは、最大約1700文字です。指定領域の取り込み先を、レポート&自由帳、インクワープロまたはワープロにすれば、指定領域の全体を一度に取り込むことができます。

## 通信記録からデータを作成する

### 通信記録→データ作成

週刊特選メニュー、Myオリジナルメニュー、情報ステーションのデータを受信中、通信異常などのために、データを受信しあとの自動データ作成が実行できなかった場合、あとで通信記録データから手動で目的のデータを取り出すことができます。

- 1 データを作成する通信記録を表示します。  
通信記録リスト画面では、タッチして選択します。

**3** はい にタッチします。

データが作成され、メニューの更新・追加やINボックスへの追加が行われます。

- 2 →データ作成 にタッチします。  
確認のメッセージが表示されます。

## 通信記録を削除する

### 一件ずつ削除する

- 1 通信記録リスト画面で、削除する通信記録にタッチして反転させます。

- 2 メニュー、削除 にタッチします。  
削除メニューが表示されます。

### まとめて削除する

- 1 ニフティサーブ初期画面などの初期画面または通信記録リスト画面で、メニュー、削除 にタッチします。  
削除メニューが表示されます。

- 2 全通信記録 にタッチします。  
確認のメッセージが表示されます。

- 3 はい にタッチします。  
全通信記録データが削除されます。

### 削除

- 3 [データ] にタッチします。  
確認のメッセージが表示されます。

- 4 はい にタッチします。  
選んだデータが削除されます。

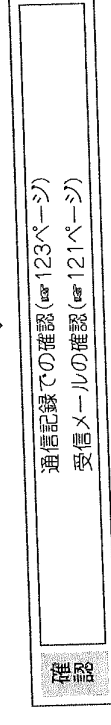
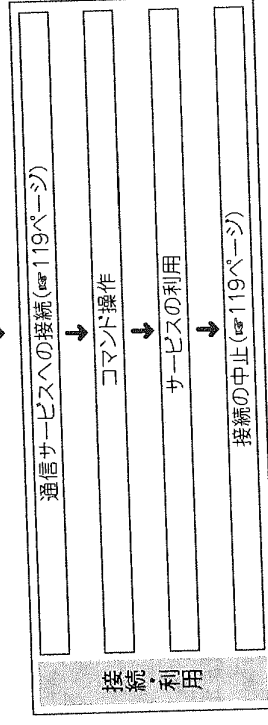
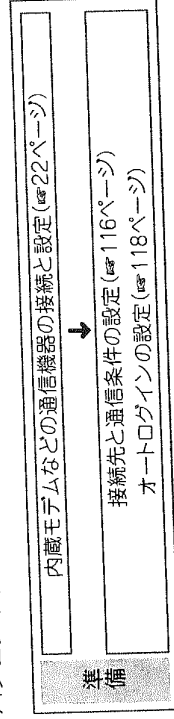
## パソコンネットワーク通信

### パソコンネットワーク通信について

パソコンネットワーク通信とは、BIGLOBE PC-VANやASAHIネットなどニフティサーブ以外の通信サービスに接続し、各種のサービスを利用することです。パソコンネットワーク通信では、パソコンから接続して利用する方法と同じように、この製品をパソコン代わりに使ってサービスを利用できます。  
通信サービスを利用するには、あらかじめ利用者ID番号やパスワードを取得する必要があります。

### 操作の流れ

パソコンネットワーク通信の操作の流れは、次のようになります。



- この製品のパソコンネットワークにあらかじめ登録されているBIGLOBE PC-VANの接続先(03-5440-7211)に接続する際、内蔵モデムまたは通信速度が9600bpsのデジタル携帯電話を使って接続してください。通信速度が2400bpsのデジタル携帯電話を使う場合には、ほかのアクセスポイントを設定してください。

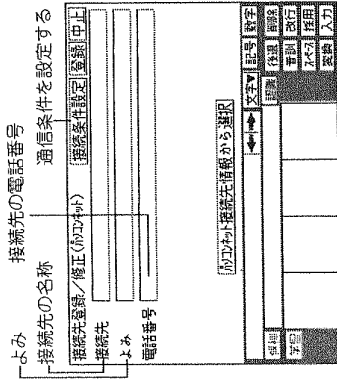


## 通信機器の接続と設定を行う

内蔵モデム、デジタル携帯電話アダプター、PHSアダプターを使ってパソコンネットワーク通信を利用できます。

- ご使用になる通信機器との接続と設定は、次のページをご覧ください。
- ・通信機器の接続 ..... 8ページ
  - ・電話回線・使用モデムの選択 ..... 14ページ
  - ・モデム・アダプターの設定 ..... 16ページ
  - ・デジタル携帯電話、PHS電話機の設定と確認 ..... 17ページ

## 接続先と通信条件を設定する



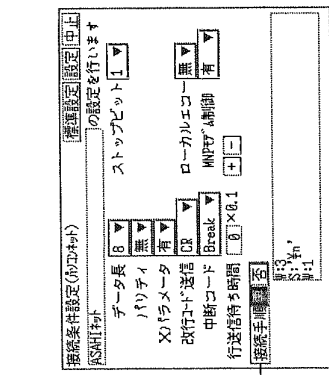
接続先登録/修正(パソコンネットワーク)画面

### 1 通信/メール、ザウルスネット/パソコンネットワークにタッチします。

パソコンネットワーク初期画面が表示されます。

### 2 「接続先」の右欄(枠内)にタッチします。

接続先選択画面が表示されます。



接続先登録/修正(パソコンネットワーク)画面

### 3 すでに接続先が登録されているときは、接続先に1回または2回タッチして選択します。

接続先が設定され、パソコンネットワーク初期画面に接続先の名称と電話番号が表示されます。

・接続先がないときは、**新規入力**にタッチします。  
接続先登録/修正(パソコンネットワーク)画面が表示されます。

### 4

パソコンネットワーク接続先情報から選択にタッチし、パソコンネットワーク接続先情報画面で接続先を選択し、**選択**にタッチします。  
接続先登録/修正(パソコンネットワーク)画面に戻ります。

### 5

接続先の名称、よみ、接続先の電話番号を確認し、必要に応じて最寄りの接続先用に修正します。

### 6

**接続条件設定**にタッチします。  
接続条件設定(パソコンネットワーク)画面が表示されます。

### 7

接続条件を設定し、「接続手順」の**要**にタッチしたあと、下の枠にタッチします。  
接続手順設定(パソコンネットワーク)画面が表示されます。



#### ● 接続条件について

パソコンネットワークでは、はじめに設定されている接続条件(標準設定)で接続できます。設定をまちがえたときは、**標準設定**にタッチして標準の接続条件に設定してください。

接続条件は、接続先ごとに設定することができます。

- ・データ長 ..... 1文字のビット数を設定する
- ・ストップビット ..... データの区切りとして送る符号の長さを設定する
- ・パリティ ..... データが正しく送受信するためのチェックを設定する
- ・Xパラメータ ..... 送信停止要求と送信開始要求を行うフロー制御を設定する
- ・改行コード送信 ..... **改行**にタッチしたときに送るコードを設定する
- ・ローカルエコー ..... 送信したデータを送信元に送り返し設定をする
- ・中断コード ..... **中断**にタッチしたときに送るコードを設定する
- ・MNPモデム制御 ..... MNPプロトコルを使用するかどうかを設定する
- ・行送信待ち時間 ..... 1行当たりの送信待ち時間を設定する
- ・接続手順 ..... オートログインの手順を設定する

### 8

接続手順を修正または入力し、**設定**にタッチします(☞「オートログインを設定する」次ページ)。  
接続手順が設定され、接続条件設定(パソコンネットワーク)画面に戻ります。

### 9

**設定**にタッチします。  
接続条件が設定され、接続先登録/修正(パソコンネットワーク)画面に戻ります。

### 10

**登録**にタッチします。  
接続先と接続条件が登録され、接続先選択画面に戻ります。

### 11

接続先に1回または2回タッチします。  
接続先が選択され、パソコンネットワーク初期画面に接続先の名称と電話番号が表示されます。



- 接続先や接続条件を修正するには  
手順3で修正する接続先にタッチして反転させ、**修正**にタッチします。接続先登録/修正(パソコンネット)画面で内容を修正したあと、**登録**にタッチして登録します。
- 接続先を削除するには  
・ 1件ずつ削除する  
接続先選択画面で削除する接続先にタッチして反転させ、**削除**にタッチします。メッセージを確認し、**はい**にタッチします。  
・ 接続先をすべて削除する  
パソコンネット初期画面で、**メニュー**、**削除**、**全パソコンネット接続先データ**にタッチします。メッセージを確認し、**はい**にタッチします。
- 接続先を変更したときのご注意  
接続先登録/修正(パソコンネット)画面で接続先の電話番号を変更したときには、オートログインの手順が異なる場合があります。異なっているときにはこの製品にあらからじ登録されているオートログイン手順を修正しなければなりません(修正のしかたは次項「オートログインを設定する」)。修正が必要かどうかは、該当のパソコン通信サービスに加入したときに送付されてきた接続先(アクセスポイント)と接続方法が説明されている資料やパンフレットをご参照ください。
- この製品では、ソフトJIS漢字コードに対応しています。JIS漢字コードのみを扱うネットワークには接続できません。

## オートログインを設定する

オートログインとは、通信サービスに接続したあと、利用者ID番号など必要な情報を自動的に入力して、その通信サービスを受け取ることができるようにすることです。  
オートログインのための手順を記述したもの(手順スク립ト)は、Myオリジナルメニューの手順作成用のコマンドを使って作成できます(※「資料」の「手順作成用コマンド」についてJ213ページ)。  
たとえば、ASAHINETのオートログインのための手順スク립トのひな形は次のようになっています。このひな形に、自分の利用者ID番号とパスワードを、次のようにして埋め込みます(手順スク립トについて知識をお持ちでない方は、ほかの部分が決して変更しないようにしてください)。

```

接続手順設定(ひな形)
接続手順を入力してください
R:20,'(G-20)',ERR#
S:11#
R:20,'userID:',ERR#
S:11ID##
R:20,'Password:',ERR#
S:11PASS##
ERR#
    
```

「#ID##」の部分消して、代わりに自分の利用者ID番号を書き込む

「#PASS##」の部分消して、代わりに自分のパスワードを書き込む

接続手順設定(パソコンネット)画面

- 1 接続条件設定(パソコンネット)画面を表示します(※116ページ)。
- 2 「接続手順」の**要**にタッチしたあと、下の枠にタッチします。接続手順設定(パソコンネット)画面が表示されます。
- 3 オートログインするための手順を入力します。  
この製品に組み込まれている接続先の手順スク립トを修正して利用すると、早く確実にオートログイン用の手順を作成できます。
- 4 **設定**に2回タッチし、**登録**にタッチします。  
オートログインが設定されます。
- 5 接続先に1回または2回タッチします。接続先が選択され、パソコンネット初期画面に戻ります。



- 接続先を新しく登録してオートログインを設定するとき、接続先と通信条件を設定する(※116ページ)をご覧ください。

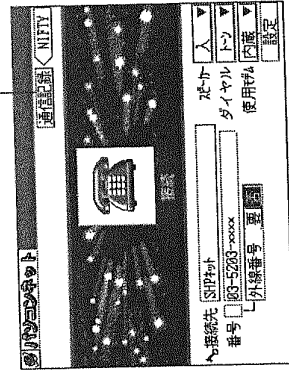


- オートログインの手順スク립トにはパスワードを記入しますので、パスワードを他の人に見られないように、この製品の管理には十分ご注意ください。

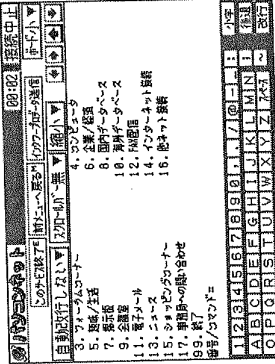
## 接続する・接続を中止する

通信するには、接続先と条件を合わせる必要があります。特に電話回線の種類(トーン/パルス)は必ず設定してください。種類が違くと接続できません。「ダイヤル」以外の項目は、通常、標準設定で通信できます。

\*「SHPネット」およびこの画面は架空のものです。



パソコンネット初期画面



通信画面

# Explore Litigation Insights

Docket Alarm provides insights to develop a more informed litigation strategy and the peace of mind of knowing you're on top of things.

## Real-Time Litigation Alerts



Keep your litigation team up-to-date with **real-time alerts** and advanced team management tools built for the enterprise, all while greatly reducing PACER spend.

Our comprehensive service means we can handle Federal, State, and Administrative courts across the country.

## Advanced Docket Research



With over 230 million records, Docket Alarm's cloud-native docket research platform finds what other services can't. Coverage includes Federal, State, plus PTAB, TTAB, ITC and NLRB decisions, all in one place.

Identify arguments that have been successful in the past with full text, pinpoint searching. Link to case law cited within any court document via Fastcase.

## Analytics At Your Fingertips



Learn what happened the last time a particular judge, opposing counsel or company faced cases similar to yours.

Advanced out-of-the-box PTAB and TTAB analytics are always at your fingertips.

## API

Docket Alarm offers a powerful API (application programming interface) to developers that want to integrate case filings into their apps.

## LAW FIRMS

Build custom dashboards for your attorneys and clients with live data direct from the court.

Automate many repetitive legal tasks like conflict checks, document management, and marketing.

## FINANCIAL INSTITUTIONS

Litigation and bankruptcy checks for companies and debtors.

## E-DISCOVERY AND LEGAL VENDORS

Sync your system to PACER to automate legal marketing.